

Park-PFI 制度を活用した魅力あふれる公園が誕生！

福岡市では、音羽公園について、民間のノウハウを活用し、利用者の利便性向上を図るとともに、管理運営面のさらなる向上を目的として、Park-PFI 制度を活用して事業者公募を実施しました。

今回、令和7年8月8日に、外部有識者等からなる提案評価委員会の意見を参考に、優先交渉権者を決定しましたので、リニューアルに関する主な提案概要を公表します。

記

1. 公園（所在地）

音羽公園（博多区博多駅南一丁目1）

2. 優先交渉権者

＜代表企業＞

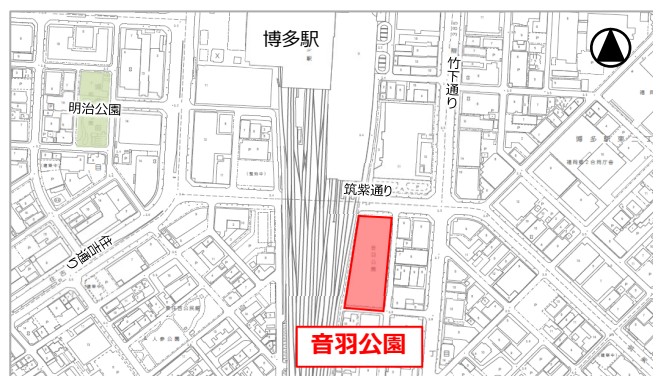
大和リース株式会社 福岡支社

＜構成員＞

axonometric 株式会社

株式会社エスティ環境設計研究所

古賀緑地建設株式会社



位置図

3. 主な提案概要

別紙のとおり

4. 今後のスケジュール（予定）

令和7年9月～ 設計

令和8年度 ～ 工事

令和9年冬 ～ 供用開始

問い合わせ先
住宅都市みどり局みどり推進部 Park-PFI 推進課
担当：小島、古賀
電話：092-707-2653

◆事業概要

基本方針	「Switch Park～『憩う 音羽の森』都心の過ごし方の再編集」 ① 空間計画（都市と森をつなぐ、ひとつなぎの森） ② 管理運営（快適で安心な空間と利用者ニーズを反映） ③ 地域連携（地域との共働による開かれた運営、賑わい創出） ⇒上記を軸に、ネイチャーポジティブや、市民のウェルビーイング向上を目指し、公園を居心地の良い空間へと刷新し、緑豊かなまちづくりを推進。
民間施設の特徴	福岡の“まち”に、都市に馴染む森を作る 「都心の森1万本プロジェクト」を踏まえ、それ自身が公園であり森でもあるような建築物を整備。緩やかに隆起する公園の地形が屋根に接続し、建物が地形の一部となることで、公園と建築が連続したひとつなぎの森を形成。 公園利用者が立ち寄りやすい、レストランやカフェなど6店程度のテナントが入るほか、喫煙所やトイレを整備。
公園整備の特徴	地域とともに育ち、変化し続ける公園へ 公園全体を森に見立て、建築や公園、人の活動を緩やかに繋げ、園内に多様な居場所を形成。 ①ひとつなぎの森：公園と建築が連続した都市と自然が溶け合う風景を創出 ②せせらぎの森：高低差を活かした水の流れや安全に遊べる浅瀬等を整備 ③寄り添う森：開放的な芝生広場や木洩れ日のある中央広場等を整備
管理運営の特徴	・構成員企業の豊富な実績による総合的な管理運営に加え、テナントや地域の事業者・団体と緊密に連携し合い、何度も訪れ、繰り返し利用したくなる公園空間を実現。 ・快適で魅力的な公園の実現に向けて、「利用用途を踏まえた維持管理」「安全・安心な環境の提供」「利用者ニーズの把握と反映」を実施。 ・市民・企業との協働による持続可能な管理や緑化推進の仕組みづくりを実施。

【整備方針コンセプト】

Switch Park

『憩う 音羽の森』
 スイッチ
 都心の過ごし方の再編集



◆全体配置イメージ



※提案時における優先交渉権者の主な提案概要であり、今後の協議等により変更になることがあります。

優先交渉権者の主な提案概要（2/2）

◆イメージパース



森と見立てた公園の中核となる、屋上まで密に緑化された民間施設



高低差を活かした五感で楽しむ浅瀬



みどりとデッキが一体となった休憩施設



開放的で多様な活動の場となる芝生広場



木漏れ日の下で休憩できる中央広場



公園全体イメージ（公園東側から望む）

※提案時における優先交渉権者の主な提案概要であり、今後の協議等により変更になることがあります。